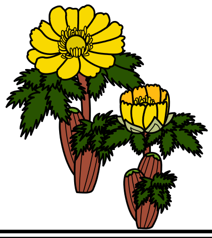
二俣川小だより



２月号

横浜市立二俣川小学校　平成31年1月25日
発行責任者　　校 長　池田 千晶

「無」から「有」を生む

池田　千晶

　子どもと会話をしていると、会話をした後に自分の中にエネルギーが湧いてくるのを感じることがあります。会話をしなくても、にこっと微笑みを返してもらっただけで、心が温まってくるのを感じるときもあります。長い冬休みの後、久しぶりに子どもたちに会って、この職業に就いた喜びを再確認した瞬間でした。

　そんなことを感じていたとき、「無から有を生む」という話を聞きました。主な内容は次のようなものです。

　今より良くなりたいと思ったら、今の現状を何も変えないで、タダでできることを工夫してみる。商売なら、笑顔で接客したり一言温かい言葉をかけたりするとか、メニューを見やすくするとか、掃除をして居心地をよくするとか。そんな工夫ができるようになった後で、改善のために資金を使うのであれば、工夫する知恵が身についているので、さらに良いアイディアが出てきて資金を有効に使いうまくまわるようになる。

　これは、商売のみならず、全てのことにつながる話だと思いました。現状を変えないで、日常生活においてタダでできることをどれだけ意識して取り組めるか。自分なりに公私ともに知恵を絞ってみました。仕事の一例では、朝の挨拶のときに声を少し大きくしトーンをあげて笑顔を意識することにしました。また、プライベートも含めて、愚痴や悪口を言わず起きる現象を前向きなとらえ方に変換しようと挑戦中です。

　子どもの学校生活をみても、タダでできる様々な工夫が見られます。代表委員会では、「ありがとう」という言葉を大切にして、いろいろな国の言葉で「ありがとう」に慣れ親しむ週間をつくりました。生活向上委員会では、もっといろいろな人と交流を深めるために「フレンド週間　サインラリー」というカードを使用して全校で取組中です。これらは、予算がつかなくても知恵を出し合ったアイディアの賜物です。学校にはタダでできて知恵を出し合い、前向きなエネルギーにかえる場面がたくさんあります。それを子どもたち一人ひとりが感じられるように、職員もまた知恵を出し合いながら、取り組んでいきたいと考えています。そして、保護者・地域の方々と知恵を出し合える関係を今後も大切にしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

３月より留守番電話の設定時間を１８：００に変更予定です

～職員の笑顔が子どもの笑顔をつくる～

　職員が元気で笑顔でいることで、子どものより良い教育活動をおこなうことができると、教育委員会は積極的に働き方改革に向けて取り組んでいるところです。その一環としまして本校の留守番電話の設置時間を現在の19:00から18:00に変更する方向で考えています。もし、その日のうちに学校が保護者の方と連絡を取りたい場合は留守電になった後も学校から連絡をする場合があります。変更に伴い、ご不明な点などがあればお知らせください。検討させていただいた上で 3 月から試行的に行いたいと考えております。ご理解のほど、よろしくお願いいたします。